



よこと館だより



Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 うめ草④

～来年度事業方針（案）～

現在、新年度（2019 年度）の至誠学舎立川の事業方針について検討しています。2017・19 年の社会福祉法改正を受けた法人の対応は、法人本部機能の充実と実行組織としての 3 事業本部制を踏まえ、地域社会の福祉ニーズに応えることを本法人の使命として取り組みを進めます。経営課題としては有効な内部統制の仕組みを構築し、法人としていっそうの経営・運営の統一性をすすめ、ガバナンスを確立する事が重要な目標です。アプローチとして新規事業の企画、キャリアパスを意図した柔軟な人事マネジメント、新事業を開発できる財務の仕組み、そして機能的な事務処理体制を確立していきたいと考えます。その意味で法人としての事業の企画、人事、資金の有効で弾力的、効果的な運用を模索・検討していきます。

決定機関としての評議員会が確立したことを受け、執行機関としての理事会機能の活性化、業務執行理事と内部理事の役割と責任を明確にし確かな法人経営・マネジメントを目指します。同時に導入した会計監査人の機能、役割を法人運営に生かしていく事が重要であると認識しています。

具体的には以下の項目を来年度の方針案とします。

- ・法人活動のさらなる活性化のために次の委員会を置くとともに、担当理事制を明確化する
規程、リスク管理・コンプライアンス、研修、広報、地域貢献、合同事業、
障害福祉事業総合化、（事務局長会）総務・企画
- ・新施設の開設（高齢事業本部）
- ・法人事業として障害総合化事業の取り組み（担当児童事業本部）
- ・総合化事業の一環として日野市における地域貢献事業開発（保育事業本部）
- ・世田谷区における子育て支援の新しい事業（保育事業本部）
- ・休日数の法人としての整合性、産休・育給取得と復職、法人保育所有効利用（各事業本部）
- ・定年延長の取り組み（法人事務局）
- ・地域貢献事業の取り組み（法人全体の取り組み）
- ・法人事務センター構想の具体的な検討、取り組み（法人事務局）
- ・外国人人材の開発（高齢事業本部）
- ・社会的養護の取り組み（児童事業本部）
- ・国際協力・貢献の取り組み（児童事業本部）
- ・職員の法人帰属意識を高める取り組み（理事会）
- ・役員任期更新と新任役員選考（理事会・事務局）
- ・法人実践福祉研究所の活性化（法人研究所）



以上

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

園庭のシンボルのひとつ、しだれ梅の花香るこの時期、共にこれまで過ごし育んできた年長児達が巣立っていく季節となります。先日房総半島からも早春の花便りが届きました。



園庭のしだれ梅
H31.2.15

まもなく新元号、国は少子高齢化をふまえ秋には「教育・保育の無償化」が予定され、「全世代型社会保障」の時代がスタートします。未来に希望を持ち続けていける社会となることを願います。

今年保育事業本部では、至誠保育園 70 周年、至誠第二保育園 60 周年、小百合保育園 40 周年、梅丘分園 10 周年の節目を迎えます。

平成最後の卒園生に、夢を託します。

保育事業本部長 稲永勝行

事業本部情報

♥児童事業本部♥

大空の家では、一人ひとりの子ども達の誕生日を大事にしています。その日は、親御さんから命を授かった大事な日です。家族と一緒に祝えない分、大空の家の職員と子ども達でそれぞれの誕生日を盛大に？いや、心を込めてお祝いをします。事前に子どもは栄養士さんと一緒に希望の誕生日料理を考え、ホーム職員が希望を聞いてプレゼントとケーキを準備します。そして職員がその子の一年間の成長を思い出しながら、思い出の写真とメッセージで綴るアルバムと、ホームの子ども達と職員からのメッセージカードを毎年贈っています。

料理のメニューも年々進化し、ファストフードより毎日大空の家で食っている味、家庭料理を希望する子どもが増えていると栄養士さんは喜んでいきます。2月、3月は誕生日が続き、職員は大忙しですが、ホーム職員が作成するアルバムやメッセージカードにそれぞれの思い出がたくさん詰まり、日頃の子ども達の生活ぶりや成長が見て取れるとても貴重なプレゼントです。子どもも毎年楽しみしてくれています。「生まれてきて良かった」と子どもが少しでも思えるように、また私達職員が一人ひとりの子ども達に「生まれてきてくれてありがとう」と祝える大事な日にしたいと願っています。

(至誠大空の家 施設長 国分美希)

♥保育事業本部♥

何年か前のテレビで放映された出来事ですが、中国雲南省の高地に棚田を作り生活をするハニ族の文化を紹介していたことを思い出し、職員会議で「家族」をテーマに考えるきっかけとなりました。ハニ族はその昔少数民族間の争いで平地を追われ、高地での稲作作りが始まり、年々棚田が増えていったそうです。インタビューでは一人の女性が「家族みんなで助け合い棚田を守ってきました」そして手をかざし「この一本の指が家族一人ひとり。みんながつながっているどの指がなくても困るものです」と答え、また男性は「私たちは毎年同じ事を繰り返してきました。次の年もその次の……ずっと。この繰り返すことに意味があるんです。」とさらりと答えた笑顔がステキだった事、そしてこの壮大な美しい世界最大の「天空の棚田」を作りだした事に偉大さと謙虚さを感じました。

至誠学舎の先人達はこのハニ族と同様に、家族皆で力を合わせ「まことの心」を守り抜いてきた歴史があります。諏訪の森も公立時代が長く、様々な思いが交錯しながら今に至ります。私達職員一人ひとり日々保育に携わる中で子ども達と真摯に向き合い努力していることに誇りをもっています。

(諏訪の森保育園 齊藤佐知子)

♥高齢事業本部至誠ホーム♥

予定通り、平成31年1月31日に新施設至誠ホームオンニの建物の引き渡しを受けました。地下1階・地上3階建ての建物は、立川錦二丁目にあって周りの住宅街に溶け込んできた感じがします。2月には備品の搬入があり、月末までに特別養護老人ホーム、ショートステイ、看護小規模多機能居宅介護の指定申請、3月からは新人の職員研修を行い、4月からの新しいご利用者を迎える準備が整いました。

1階の玄関手前の右手には、立川市立第七小学校の子供たちの壁画が飾られています。これは、平成30年度(2018)創立60周年の記念とオンニの開設を祝って、第七小学校の児童全員で描いてくれました。多世代の交流により絆を深め、お互いに未来への懸け橋となることに願いを込めています。

オンニ(ONNI)とは、フィンランド語で“幸せ”を意味します。ご利用者、地域の方々、それに職員共々幸せを感じられる日々が始まる事を信じ、念じています。

(至誠ホームオンニ準備室長・現スオミ園長 河合晴夫)

本部事務局だより

3月は卒業の季節である。海外では英国がEUを卒業(?)しようとしている。「ブレグジット」である。自国に有利な内容でEUを離脱しようとする英国に対してEUの強硬派はNOを突きつけ、「合意なき離脱」が目前に迫って来た。そうなる英国は世界の自由貿易圏から事実上はじき出される可能性が高く、世界経済への影響は避けられない。既に、米国の車メーカーのフォードは英国内の生産拠点を海外へ移転させる準備をし、日本のホンダは英国の工場を2021年に閉鎖を決定した。また、日産も英国での生産計画の見直しを発表した。掃除機でお馴染みのダイソンは、本社をシンガポールに移す決定をした。今英国の隣国は、税関の設置や保税倉庫・駐車場の建設など準備を急いでいる。

第二次世界大戦後に挫折を繰り返しながらも経済分野から少しずつ合意を重ね、関税の撤廃、通貨の統合、入出国の自由等、自由と民主主義の拡大発展を象徴してきたはずのEUが、「自国の利益を害する」とする英国のポピュリストたちの「知らないものにはNOを！」という運動と国民投票によりEU離脱を決定した。そして今、3月末の交渉期限を迎えようとしている。仮に交渉期限が延期できたとしても、その後の合意は難しくソフトランディングの可能性は低い。「自国の利益を守る」のは国家の大きな役割ではあるが「自国さえ良ければ構わない」と言うスタンスは天にツバするのと同じである。それだけ今世界はグローバル化している。卒業は、明るい未来を祝福される卒業でありたい。

(法人事務局 局長 野島忠幸)

<編集後>3月になり節目の時期を迎えます。法人では3月4日に新規採用者研修会が開かれます。スタッフも含め約90人余りの職員が一同に会します。日々是新たに…の心持ちで、新年度を迎えたいものです。